

CAR No.34&35&36

スーパーFJ

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Beyond

2012/ 7/1

Albirex-RT

スーパーFJ ツインリンクもてぎシリーズ 第 4 戦

湊選手がスーパーFJ自身初の表彰台獲得！

太田選手とのダブル入賞を達成！



7月1日(日) 予選・決勝 ロードコース 1LAP=4.801km 出走：17台

天候：くもり コース：ドライ 気温：29℃ 湿度：32% 路温：45℃

ドライバー：大久保一成 (AlbirexRT エンドレス #34)

太田達也 (アルビ RT 玉三郎 ED ビヨ岩本 #35)

湊 雅之 (アルビ RT 玉三郎 Dream. #36)

予選結果：湊選手 6位 太田選手 8位 大久保選手 12位

決勝結果：湊選手 3位表彰台獲得 太田選手 6位入賞 大久保選手 14位

## ■7月1日（日） 予選

朝 7 時に全員でミーティングを開始し、今回は予選に集中するようということで 1 日がスタートした。また、太田選手は前日の練習走行よりスプリングを変えるなどの変更を施し、セッティング変更後の練習走行はなしでの予選アタックとなる。このまま妥協はできないため初トライという形になった。

予選は 8 時 50 分から 20 分間の走行となる。前日の練習走行で、1 台クラッシュにより大破したため、全 17 台中、1 台リタイヤによる全 16 台で予選開始。湊選手は後ろからできるだけフリースペースを作るように走行開始。太田選手は優勝候補らの後ろにつくような形、大久保選手は自分のペースでコースインした。

序盤、湊選手は 4 番手前後、太田選手は 7 番手前後、大久保選手は 10 番手前後の時計をキープ。5 周目以降になると全車タイヤが温まり、本格的なタイムアタックに入っていた。

結果、湊選手はクリアラップをうまく取り、上位陣とは絡むことなく 6 番手ポジションを獲得。太田選手は果敢に上位陣にアタックをかけていき 8 番グリッドを獲得。大久保選手はペースが上がらず 12 番手に沈む。

湊選手はトップから 0.888 秒差、太田選手はトップから 1.948 秒差というラップタイムをマークし、決勝でのダブル入賞に大きく期待を膨らませる予選結果となった。

## ■7月1日（日） 決勝

決勝は 12:45 スタート予定だったが、同日開催された鈴鹿サーキットのレースが大雨により中止になるという情報が入ったため、茂木での全日程も詰める形で進行された。

湊選手は 6 番手、太田選手は 8 番手、大久保選手は 12 番手グリッドよりシグナルがブラックアウト。しかし、スタート直後の 1 コーナーで混乱が発生。他車同士で軽い接触があったものの、3 選手ともうまく切り抜け、1 周目コントロールライン通過時点で湊選手 3 番手、太田選手 6 番手、大久保選手が 8 番手にまで浮上。2 周目には、湊選手の目の前を走っていた車両がバランスを崩したのを見逃さずに果敢に攻め、湊選手は 2 番手に浮上する。一方、太田選手は後方車両より 1 台パスされ 7 番手にドロップ。大久保も 8 番手に後退してしまう。

3 周目、湊選手の後方を走っていた 3 番手車両が V 字コーナーでアタックをかけてきて接触。左リヤカウル、エンジンフードカウルなどを破損したが、飛び散ることなく走行。しかし、この間に湊選手は 3 番手に後退してしまう。

3 位になってからの 4 周目以降、4 番手以降がバトルのため大きく離れ、そのまま無事 3 位でチェッカー。本人にとってはスーパー F J 初の表彰台獲得を達成した。

太田選手は、4 台による 4 番手争いの集団で走行を続け、何度も順位を入れ替えながら上位を窺う。レースはそのままファイナルラップまで進行。最終的には我慢の走行で 6 位入賞を獲得した。

大久保選手は3周目の1コーナーにて、13位までドロップ。その後1台にも抜かれ14位でフィニッシュとなった。

#### ○大久保選手コメント

今回も結果が伴いませんでした。今ひとつ歯車が噛み合っていないですが、次ではいい結果が出るよう努力します。



#### ○太田選手コメント

我慢のレースとなりましたが、結果として入賞できました。応援して頂いた皆様ありがとうございました。富士シリーズ、茂木シリーズと車両が変わる中で、今後も良い結果が残せるように頑張ります。



#### ○湊選手コメント

今まで速さはあったので、それがこういう形で結果に結びついて良かったです。たくさんの方に応援して頂き本当にありがとうございます。次は優勝できるようにもっともっと練習して行きたいです。

#### ○中村監督コメント

今回はレースアクシデントがアルビレックス・レーシング・チームにとっていい方向に流れました。しかし、数少ないチャンスを我慢し、表彰台を獲得した湊選手は精神的に成長しました。また、終始4台のバトルで最後まで走り切った太田選手の車のセッティング能力は非常に目を見張るものがあり、入賞を勝ち取りました。大久保選手はまだ歯車が噛み合っていないようです。応援して頂いた皆様有難うございます。今後は表彰台の真ん中を目指して頑張ってください。





**PPLUS**  Nankai Plan Co., Ltd.

**鈴木会計**  
埼玉・川口  
<http://www.tcnf.com/ads>

**M.I.D Japan Inc.**  
Mitsui Impress Development



**Moty's**  
FIRST LIGHTING TECHNOLOGY

**SPN**  
SPEED PARK NUGATA

- Zip Auto
- KAISHIN AUTO
- 榎本自動車整備工場